



孤立集落サバイバル合宿 2026 at TSUBAKI における 次世代を担う若き災害対策士の養成 へのご協賛のお願い

2026年5月18日

一般社団法人 災害対策トレーニングセンター支援会（以下、DMTC-SA）では、2026年9月21日・22日にて、和歌山県西牟婁郡白浜町椿地区において、中高生向けの体験型研修「[孤立集落サバイバル合宿 2026 at TSUBAKI](#)」を開催する運びとなりました。本研修においては、避難所での体験を通して、中高生の防災意識の向上と実践的な活動能力の育成を図るとともに、次世代の地域防災を担う若き“災害対策士”を養成することを目的としています。

2050年の日本を想像してください。今から24年後、現在の13歳は37歳、18歳は42歳となり、社会の屋台骨を支える世代となります。この「未来の担い手」たちが今、正しい知識と身体知を備えていなければ、わが国のレジリエンスは維持できません。

そこで、本研修の参加者となる中高生には、災害対策教材を学習し、DMTC-SAが運営する能力認定制度「[災害対策士](#)」のC級試験に挑戦していただきます。災害対策士C級は、災害対策全般の基礎知識、特に災害対策マネジメントに関する知識の理解を問うものであり、日本、そして世界の災害対策をリードする人材の養成につながるものです。

つきましては、上記の趣旨をご理解いただける法人に、ご協賛を賜りたく、お願い申し上げます。

なお、ご協賛の内容につきましては、下記の通りとさせていただきます。

1. 協賛金額 一口 100,000 円（最大 5 口まで）
2. 募集期間 2026 年 8 月 21 日(金) まで
3. 募集方法 [Google フォーム](https://forms.gle/2uaFcqTRksRvxpsJ7) にて <https://forms.gle/2uaFcqTRksRvxpsJ7>
4. 納入方法 銀行振り込み（口座情報は追ってお知らせいたします）
5. 協賛の御礼 協賛法人名の記載、研修用 T シャツの配布
及び 研修中の展示コーナー・成果発表会への参加権(詳細は別紙 3)、
及び 災害対策士 C 級・B 級の費用免除 一口あたり 1 名分
6. 問い合わせ先 DMTC-SA 事務局
info [at] dmtc-sa-dms.com

その他、研修の詳細、昨年度までの実施報告につきましては、[別紙](#)をご確認ください。



別紙 2 研修の趣旨、概要、実施目的（実施要項から引用）

◇ 趣旨

東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター(DMTC : Disaster Management Training Center)では、2023年夏頃から和歌山県白浜町椿地区にて、災害対策プログラムに取り組んでいます。椿地区は、日本に15,000近くあるといわれている孤立集落の1つであり、発災時には直後数日間を自助共助によって生き抜く必要があります。地域の人々を巻き込みつつ、防災意識を向上するとともに、実践的な活動能力の育成を図ることを目的として活動しています。

これまでに、24年2月・5月・8月、25年3月・7月と5回の研修を実施しており、令和6年能登半島地震を踏まえ椿地区の災害対策を検討するワークショップ、白浜町と椿地区の連携を考える災害対策本部運営訓練、椿地区区内での自助共助を実現するための避難所運営訓練などを行い、人材養成に取り組んできました。

第6回となる今回の研修では、対象者を中学生・高校生に限定し、1泊2日の合宿スタイルで「避難所運営の質を高めるために必要な要素とは？」をテーマとしたコンテンツを提供するとともに、次世代を担う若き災害対策士を養成します。避難所生活を体験し、発災時に生き抜く術を見出しましょう。

◇ 概要

- ・ **開催日**：2026年9月21日(月・祝) 10:40 ~ 22日(火・祝) 15:30
- ・ **場所**：和歌山県西牟婁郡白浜町 椿地区 旧椿小学校（指定避難所）【[Google マップ](#)】
- ・ **対象者**：防災に興味・関心のある**全国の意欲あふれる中学生・高校生諸君**（小学5年生以上も受付！）
- ・ **定員**：20名（先着順。定員に達し次第、締め切ります。）
- ・ **参加費**：10,000円（食費・保険費・見学費・受験料など）※現地までの交通費等はこちらが負担いたします。
- ・ **主催**：一般社団法人 災害対策トレーニングセンター支援会(DMTC-SA)
- ・ **協力**：DMTC、白浜町、東京大学 生産技術研究所 次世代育成オフィス(ONG)
- ・ **協賛**：【調整中】
- ・ **後援**：【和歌山県、白浜町、周辺自治体などと調整中】
- ・ **詳細**：<https://www.tdmct.tokyo/event/survival-camp-2026-at-tsubaki/>

◇ 実施目的

- ① 防災意識の向上と実践的な活動能力の育成
 - ・ 防災についての基本的な知識を学び、自分や他人の安全を確保するための行動を理解し、災害時に地域のために活動できる力を育む
- ② 次世代の地域防災を担う若き災害対策士の養成
 - ・ 少子高齢化に伴い、中高生も地域の担い手として発災時に力を発揮することが必要である。将来の職業や生活の中で防災意識を持った街づくりを行える人材として、若者に災害対策士C級の認定を取得させる。
- ③ 防災意識の普及と地域コミュニティの強化
 - ・ 訓練で得た知識や経験を家族や友人に伝えることで、防災意識を持った人材を増やし、地域コミュニティ全体の防災力を高める。



別紙 3

研修のタイムスケジュール(案)について

- ◇ 21日 15:00 から 16:30 の時間帯において、
協賛法人様が提供する災害対策に関する技術の展示をしていただけるよう、
お時間を用意しております。1 法人につき、最大で 30 分前後を想定しております。
- ◇ 22日 14:00 から 15:30 の時間帯において、
協賛法人様には、中高生の成果発表会をご視聴いただけます(オンライン配信・アーカイブあり)。

21日	10:40	集合・受付	椿小学校にて
	10:45	開会式	研修の流れを説明します。
	11:00	座学講義	Mission1 に対応。災害について学ぼう！
	12:15	ランチタイム	参加者同士で親睦を深めましょう！
	13:00	避難訓練	Mission2 に対応。各班で津波から逃げよう！
	13:15	街歩き	椿地区の街並みや特徴的なジオサイトを実際に見てもらいます！
	15:00	最新技術展示	大型テントやトイレカー等の技術に触れよう！
	16:30	避難訓練の振り返り	Mission2 に対応。避難場所の課題を探ろう。
	17:15	移動	バス
	17:30	入浴	道の駅 椿はなの湯にて
	18:15	簡易ベッド組立	Mission2 に対応。空間の割当を検討します。
	19:00	夕食	椿小にて、避難食を体験しよう！
	20:00	避難所開設訓練	Mission2 に対応。避難所開設のために必要な準備について学ぼう。
	22:00	就寝	簡易寝具あり、空調ありの大部屋を予定。
22日	6:00	起床・朝の避難生活	簡易ベッドを片付けます。
	6:45	朝食	軽食(パン)を用意します。
	7:30	発表資料作成	避難訓練の振り返りを資料にまとめよう。
	9:30	避難所運営訓練	Mission1・2 に対応。うまく対応できるか？ 2 チームに分かれて、対決します！
	11:30	昼食	椿地区婦人会の皆様にご用意いただきます。
	12:30	避難所訓練振り返り	Mission2 に対応。避難所の課題を探ろう。
	14:00	成果発表会	各班でまとめた意見を発表しよう。 他者の意見を聞いてブラッシュアップしよう！
	15:00	閉会式	修了証を授与します。
	15:30	解散	



別紙 4

昨年度までの実施報告

◇ 今年度の情報は、下記リンク先にて公開しております。

<https://www.tdmtc.tokyo/event/survival-camp-2026-at-tsubaki/>

(ア) 2024 年度：「孤立集落(ミニ)サバイバル合宿 2024 at TSUBAKI」と題して実施。12 名が参加。

- ・ 募集概要：<https://www.tdmtc.tokyo/event/cut-off-community-survival-camp-2024/>
- ・ 実施報告：<https://www.tdmtc.tokyo/2024/08/12/cut-off-community-survival-camp-2024/>



(イ) 2025 年度：「孤立集落サバイバル合宿 2025 at TSUBAKI」と題して実施。20 名が参加。

- ・ 募集概要：<https://www.tdmtc.tokyo/event/survival-camp-2025-at-tsubaki/>
- ・ 実施報告：<https://www.tdmtc.tokyo/2025/08/01/survival-camp-2025-at-tsubaki/>

